

市民研究員制発足

説明会兼ね「集い」

来月7日島根県立大

浜田市の島根県立大

が、北東アジア研究科の

大学院生と一緒に研究活

動する「市民研究員」制度

を十月スタートさせる。

学内図書館などを地域に

還元するともに、実社

会の経験を持つ定年退職

者などの社会人経験を研

究の刺激にする狙い。募

集説明会を兼ねた「懇談

の集い」が十月七日に同

大である。

市民研究員は年五回程

度開く研究会に参加し、

交流を深める中で院生や

教員と共同研究チームを

つくる事ができる。内

容によってはチームで中

国、韓国、モンゴルなど

現地を訪問する。報酬は

ないが、同大が研究費の

一部を助成。論考なども

印刷物を作り掲載する。

資格は問わず、任期は一

年。一年目以降の継続も

可能。

市民講座など受け身の

大学開放と違って研究に

タッチしてもらおう制度は

珍しい。同大は「実社会

の経験者らが院生に刺激

を与えてほしい。たどえ

ば戦前の中国生まれの人

が満蒙開拓団研究にかか

わるなどすれば研究に厚

みが増す」としている。

懇談の集いは午後一時

半から五時まで同大交流

センターであり、その後

学内レストランドで交流会

もある。参加費無料。☎

0855 (24) 220

1

(田中伸武)